

教えると、今度はその人が先生になって他の人に教えてあげたりする、そうしたながら新たな人が繋がっていくのも楽しさの一つです。

作品の中で、フクロウは、「福が来る」と言って喜ばれ、とても人気です。また、苦難猿は「苦難が去る」ということで、一時期は多くの方から欲しいと言われ、たくさん作りました。私たちの作品に対しそういう声を聞くと、作り甲斐もありますしやりがいがあります。

議会

今後の活動についてどんなことをやりたいですか。

ちりめん会

大きいものを作ってみたいと思っています。人形とか、とても難しいと思いますが、いつかは挑戦してみたいです。あとは、吊るし雛はたくさんさんの願いや想いを込めて作っているの、人通りの多い所に飾ってたくさんの方に見てもらいたいです。



ちりめん細工の会で作った
上段：フクロウと苦難猿 下段：七宝毬



議会

吊るし雛を始めたい方や、鑑賞する皆さんにメッセージをお願いします。

ちりめん会

始めたいという方は大歓迎です。道具や生地を揃えなくてはできないと思って諦めてしまう人もいましたが、そんなことはありません。「ちりめん細工の会」という名前ですが、ちりめんのみならず、自宅で眠っている着なくなってしまう着物の生地等を代用して、色々なものを作っています。今あるもので始めることもできるので、興味がある方



※写真撮影時のみマスクを外していただきました。市民インタビューは感染対策を徹底して行っております。

はぜひやってみてほしいと思います。いつでも大歓迎です。

今年もあすなろの里で2月4日(土)から3月5日(日)まで吊るし雛を展示しています。今は入園料も無料ですので、ぜひ気軽に見に来てください。

(令和4年10月インタビュー)